**14 『宇治拾遺物語』**

今は昔、ののの御時に、焼けⓐぬ。人のつけたるになんあり  
ⓑける。それを、といふ大納言、「これののしわざなり」とおほやけに申しければ、その大臣を罪せんとせさせひけるに、世のは御弟の西三条の右大臣に譲りて、白川にこもりゐ給へる時にて、①このことを聞き、驚き給ひて、、ながら、しの馬に乗り給ひて、乗りながら北の陣までおはして、御前に参り給ひて、「このこと、申す人のにもらⓒん。大事になさせ給ふこと、いとことやうのことなり。かかる事は、かへすがへすよくただして、まこと、空事あらはして、行はせ給ふⓓべきなり」と奏し給ひければ、「まことにも」としして、たださせ給ふにもなきことなれば、「許し給ふ仰せよ」とあ承りてぞ、大臣は帰り給ひける。

の大臣は、過ぐしたることもなきに、かかるこざまの罪に当たるを思し嘆きての装束して、庭にらごもを敷きて、でてに訴へ申し給ひけるに、許し給ふ御使ひに、馬に乗りながら、馳せまうでければ、急ぎ罪せらるる使ひぞと心得て、ひと家泣きののしるに、許し給ふ由仰せかけて帰りぬれば、またよろこび泣きおびただしかりけり。許され給ひにけれど、「おほやけにつかうまつりては、よこざまの罪で来ぬベかりけり」と言ひて、ことにもとのやうに②宮仕へもし給はざりけり。

語　注

信の大臣・左の大臣＝。

忠仁公＝。水の尾の御門（清和天皇）即位後、最初の摂政となる。

移しの馬＝役人が公用の時に使う乗り換え用の馬。

一定もなき＝確実でない。

宣旨＝天皇のお言葉。公文書。

よこざまの罪＝無実の罪。

日の装束＝「日の装ひ」とも。公事の際の正装。

あらごも＝粗く編んだむしろ。

天道＝天地を支配する神。天帝。太陽。

頭中将＝蔵人の頭（長官）で近衛中将を兼ねた人。

問1　二重傍線部ⓐ～ⓓの助動詞の意味として適当なものをそれぞれ次から選び、活用形を答えよ。（各完答で3点×4）

　　　意味　　　活用形　　　　　　意味　　　活用形

ⓐ〔　　　〕〔　　　　　〕　ⓑ〔　　　〕〔　　　　　〕

ⓒ〔　　　〕〔　　　　　〕　ⓓ〔　　　〕〔　　　　　〕

ア　過去　イ　完了　ウ　推量　エ　当然　オ　強意

問2　傍線部①「このこと」とは何を指すか、最も適当なものを次から選べ。（5点）

ア　信の大臣が応天門を放火したことを目撃され、世間のうわさになっていること。

イ　信の大臣が「応天門は人々の放火で焼けた」と役人に申し上げたこと。

ウ　伴善男の告げ口で天皇が信の大臣を放火の罪で処罰なさろうとしていること。

エ　天皇が憂慮され、応天門の火災の真実を知りたがっておられたこと。

オ　西三条の右大臣が信の大臣と伴善男を告げ口の件で取り調べておられること。

〔　　　〕

問3　「忠仁公」について、

⑴「忠仁公」の慌てぶりがどこでわかるか、その箇所を抜き出せ。（5点）

〔

〕

⑵「忠仁公」は天皇にどのようなことを申し上げたか。最も適当なものを次から選べ。（5点）

ア　応天門の事件を追及なさることは当然のことである。

イ　告げ口をした人こそ事件の犯人かもしれないので調査すべきである。

ウ　事件の真実と虚偽をはっきりさせて処断なさるべきである。

エ　真相を慎重に調べ、はやく犯人を見つけ処罰をするほうがよい。

オ　重職にあり、帝が大切になさっている方を軽々しく処罰してはいけない。

〔　　　〕

問4　天皇が託した「宣旨」（公文書）の内容として最も適当なものを次から選べ。（4点）

ア　伴善男を罪せよ。　　　イ　真犯人をみつけよ。

ウ　罰した行為をわびる。　エ　信の大臣を許す。

オ　一刻もはやく参内せよ。

〔　　　〕

問5　使者である頭中将の報告を聞く前と後では、信の大臣の家の人々の態度はどう変化したか、適当な語句を本文中からそれぞれ六字で抜き出せ。（5点×2）

聞く前　〔　　　　　　　　　　〕

聞いた後〔　　　　　　　　　　〕

問6　傍線部②「左の大臣」は宮仕えをしなくなったのはなぜか、簡潔に答えよ。 （9点）

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

練習問題〈古語の意味①〉

次の傍線部の形容詞・形容動詞の意味を後から選べ。

①おのおの拝みて、ゆゆしく信おこしたり。（　　　）

②夢にいと清げなる僧の、黄なる地の着たるが来て、（　　　）

③もの心細く、すずろなる目を見ることと思ふに、（　　　）

④げに、いと心なき人のしわざにもはべるかな。（　　　）

⑤人は、かたち有様のすぐれたらんこそ、あらまほしかるべけれ。（　　　）

⑥あからさまに抱きて遊ばせうつくしむほどに、かいつきて寝たる、いとらうたし。（　　　）

⑦いはけなくかいやりたる額つき、髪ざしいみじう美し。（　　　）

⑧その子・孫までは、はふれにたれど、なほなまめかし。（　　　）

ア　思いがけない　　イ　思慮がない　　ウ　かわいい

エ　望ましい　　オ　きれいである　　カ　たいへん

キ　優雅である　　ク　子供っぽい

【解答】

問1　ⓐイ・終止形　　ⓑア・連体形

　　　ⓒウ・終止形　　ⓓエ・連体形

問2　ウ

問3　⑴御烏帽子、直衣ながら、移しの馬に乗り給ひて、乗りながら北の陣までおはし

　　　⑵ウ

問4　エ

問5　（聞く前）泣きののしる　（聞いた後）よろこび泣き

問6　宮仕えを続けてはまた無実で罪を得るかもしれないから。

【練習問題解答+口語訳】

①カ《それぞれ拝んで、たいへん信心を起こした。》

②オ《夢に非常にきれいな僧で、黄色の地の袈裟を着ているの（僧）が来て、》

③ア《なんとなく心細く、思いがけない目に遭うものだなあと思っていると、》

④イ《本当にまあ、非常に思慮がない人の行為でしょう。》

⑤エ《人は、や容姿がすぐれているようなのが、望ましい。》

⑥ウ《ちょっと抱いて遊ばせかわいがっている間に、寝てしまったのは非常にかわいい。》

⑦ク《子供っぽくかき上げた額の様子、髪の様子は愛らしく美しい。》

⑧キ《その子供・孫までは、落ちぶれてしまっていても、やはり優雅である。》